

No.25-0153A

報道関係各位

2025 年 12 月 18 日

ヒューマンアカデミー株式会社

東京都渋谷で開催！クリエイティブロボティクスコンテスト 2025 クリエイティブ最優秀賞は中学 1 年生の加藤歩夢さん レベルの高いプレゼン・タイムアタックで子どもたちの個性光る

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：今堀健治、以下「当社」）の児童教育事業「ヒューマンアカデミージュニア」は、一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（所在地：東京都新宿区、代表理事：須藤冬暁、以下「RISE」）と共催で、ロボット・プログラミングのアイデア力や技術力を競う「クリエイティブロボティクスコンテスト 2025」を、2025 年 11 月 23 日（日・祝）に東京都渋谷区の GMO インターネットグループ 第 2 本社「GMO Yours・フラス」で開催しました。クリエイティブ最優秀賞は中学 1 年生の加藤歩夢さん（愛知県豊田駒場教室）が受賞。「子ども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」と題し、舌下免疫療法を毎日行う自身の経験から生み出されたアイデアが詰まったオリジナルロボットが受賞しました。

【本件のポイント】

- 文部科学省後援！ロボット・プログラミングのアイデア力や技術力を競う「クリエイティブロボティクスコンテスト 2025」を今年も開催
- クリエイティブ最優秀賞（MVP）は、愛知豊田駒場教室の中学 1 年生、加藤歩夢さんが舌下免疫療法を楽しみながら実施できるロボットで受賞
- タイムアタックレース部門金メダルは、2 年間優勝を逃した、高校 2 年生の小池楓さん（山梨甲府南教室）が、悔しい思いを乗り越え、念願の金賞を受賞



大会に参加した未来のロボット博士たち



クリエイティブ最優秀賞を受賞した加藤歩夢さん

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

【本件の概要】

近年、大学入試制度は大きな変革期を迎え、選抜は知識偏重から、「主体性・多様性・協働性」や「思考力・表現力」を多面的に評価する総合型選抜が主流です（※1）。本コンテスト出場のような「探究活動の実績」は、新しい評価軸で受験生の能力を裏付ける大きな強みとなります。また、国はデジタル・AI時代を背景に、未来の成長分野を担う高度専門人材育成のため、理工農系学部への機能強化を推進（※2）。経済産業省は2040年にAI・ロボット関連人材が約326万人不足すると推計しており（※3）、理系マインドを持った人材の早期育成は喫緊の課題です。

これまで、ヒューマンアカデミージュニアは、「ロボット教室」や上級者向けの「ロボティクスプロフェッサーコース」を通じて、子どもたちのSTEAM教育に力を入れてきました。学習の成果を見せる場としてロボットコンテスト「ロボプロ全国大会」をこれまでに計6回実施しています。昨今の科学・技術・工学・芸術・数学を統合したSTEAM教育の拡大、さらに「ロボティクス(Robotics)」を取り入れ、当社が注力しているSTREAM教育の価値をより広く発信し、一般の方々にもその価値を認識していただくために、一般エントリーも募集し開かれた大会として「クリエイティブロボティクスコンテスト」をRISEと共催しています。さらに、ロボット工学を通じて子どもたちの創造力・技術力・人間力を育むという教育的意義が認められ、文部科学省から後援いただきました。

今大会は、ロボット製作に情熱を燃やす子どもたちがレベルの高い作品を披露し、審査員を感嘆させ、会場を沸かせました。当日の発表の様子はYouTubeよりご覧いただけます。

●コンテストのアーカイブ映像

https://www.youtube.com/live/ud4IO75zTCY?si=Fj3Sq_R2NP73NSef

●クリエイティブ最優秀賞（MVP）を受賞した加藤さん発表の様子

<https://www.youtube.com/live/ud4IO75zTCY?si=6hRt1Yednp0EsHZA&t=14179>

出典※1：文部科学省「大学入学者選抜における総合型選抜の導入効果に関する調査研究」

※2：文部科学省「大学構造改革と理系学生の活躍促進に関するタスクフォース とりまとめ」

※3：経済産業省「2040年の産業構造・就業構造の推計」

【クリエイティブ最優秀賞は中学1年生の加藤歩夢さん！自身の舌下免疫療法の経験からロボットを製作】

クリエイティブ最優秀賞（MVP）と神山まると高専賞のダブル受賞に輝いたのは、愛知県豊田駒場教室の中学1年生、加藤歩夢さんでした。部門トップバッターで登場し、製作した舌下免疫療法を楽しみながら行うためのロボット「子ども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」をデモンストレーションしながらプレゼンしました。舌下免疫療法を毎日行う自身の経験から生み出されたアイデアが詰まったロボットは、薬を舌の上に載せて服用している時間にロボットがクイズを出してくれたり、1週間服薬をがんばったらご褒美の引き出しが開くように設計するなど、遊び心と工夫が光っていました。審査員の方々や会場の観客からも驚きと感嘆の声が漏れるほど、会場を圧巻しました。

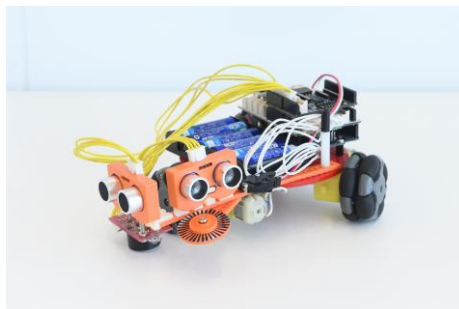


クリエイティブ最優秀賞（MVP）を受賞した加藤歩夢さんと、作品『子ども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ』。遊び心を加えることで服薬を楽しくサポート。

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

【3年かけて掴んだメダル！タイムアタックレース部門金メダルは高校2年生の小池楓さん】

タイムアタックレース部門金メダルを獲得したのは、高校2年生の小池楓さん（山梨甲府南教室）でした。2年間優勝を逃し、悔しい思いをしてきましたが、今年は念願の金賞を受賞！圧倒的な速さでゴールまで到達したロボットは、これまでの大会で涙を吞んできて改良を重ねた工夫が見られ、努力によって掴んだ金メダルでした。



【文部科学大臣賞など全15部門の受賞について】

文部科学大臣賞をはじめ、全15部門の賞が発表されました。今年は個人・所属教室に対して総額100万円を超える賞金が贈られ、ダブル受賞をする生徒もいました。

さらに、エキシビジョンでは、DXハイスクール採択校である順天高等学校の4名(当日は1名欠席)もタイムアタックレースに挑戦し、学習成果を発表しました。2走目で無事に完走し、普段の活動の話なども交え、会場を沸かせました。



【受賞者（敬称略）】

各コースの受賞者は以下の通りです。

賞名	都道府県	教室名	氏名	学年	ロボットタイトル/内容
クリエイティブ最優秀賞 (MVP)	愛知	豊田駒場教室	加藤 歩夢	中学1年生	「こども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」 舌下免疫療法を頑張る子供のためのおもちゃ型薬箱。音声での服薬案内、待ち時間のクイズ、ごほうび機能で服薬をサポート。病院へのLINE通知機能あり。
文部科学大臣賞	福岡	小倉北教室	桑村 悠太郎	高校2年生	「SKetchBot」 入力した画像を自動でアナログな絵として出力するロボット。逆運動学を用いてアームを制御する。
クリエイティブ優秀賞（準MVP）	京都	上柱駅前教室	蔭山 優輝	高校1年生	「魔法の杖で文字を描くロボット」 杖で操作する文字書きロボット。メカナムホイールによる精密な制御と赤外線通信で動作する。
タイムアタックレース部門金メダル	山梨	甲府南教室	小池 楓	高校2年生	タイム 12.69秒
タイムアタックレース部門銀メダル	東京	江戸川大杉教室	加藤 優真	中学2年生	タイム 14.37秒
タイムアタックレース部門銅メダル	滋賀	彦根インター教室	我妻 賢弥	中学3年生	タイム 18.11秒
神山まるごと高専賞	愛知	豊田駒場教室	加藤 歩夢	中学1年生	「こども専用舌下免疫療法薬箱Ⅱ」
fuRo賞	福島	福島森合教室	飯田 空大	高校2年生	「RevolvingSynth」 周囲の環境を感知し、リアルタイムで音楽を演奏するロボット。
ユカイ工学賞	京都	上柱駅前教室	蔭山 優輝	高校1年生	「魔法の杖で文字を描くロボット」
新人賞	愛知	清須西枇杷島教室	西川 育志	中学3年生	「デリボ」 配膳ロボットの「取りに行く手間」を解消するロボット。
初出場教室賞	茨木	研究学園教室	竹澤 奎志郎	中学2年生	「近視ブロックロボット」 近距離での読書を防ぐロボット。
アイデア賞	大阪	鶴見公園前教室	檜垣 葉多	高校1年生	「あやつり人形ロボ」
デザイン賞	福島	福島森合教室	飯田 空大	高校2年生	「RevolvingSynth」
技術賞	愛知	西尾寺津教室	土谷 亘	中学3年生	タイム 33.7秒
プレゼン賞	茨木	研究学園教室	竹澤 孝志郎	高校2年生	「投擲型警備ロボットThrow Robot」

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

コンテストのレポートは SNS でも随時発信しています。

●クリエイティブロボティクスコンテスト 公式 Instagram : https://www.instagram.com/robo_contest_jp/

【審査委員長 古田貴之先生の講評】



毎年レベルが上がっている中、今回、クリエイティブ最優秀賞（MVP）はすぐに決まりましたが、それ以外の賞は本当に迷いました。これまではデザイン、メカ、ソフトのどれかがすごいという方が多かったですが、トータルに全部できている人が増えていたからです。さらに、ロボプロの標準キット以上のことをやる人が多くいたので、非常に驚き、感動しました。

実装レベルのロボットを作るには、何万回とテストをしたり地道な努力が必要です。皆さんと一緒にロボットが作れて、社会人として一緒に仕事がしたいです。

【審査員】

審査委員長：古田貴之 氏

（工学博士／千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター fuRo 所長

ヒューマンアカデミーロボティクスプロフェッサー コースアドバイザー）

審査員：青木俊介 氏（ユカイ工学株式会社 代表）

審査員：竹迫良範 氏（神山まると高専 テクノロジー教育 教授）

審査員：奥村悠 氏（千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター fuRo 上席研究員）

審査員：山本蒼也 氏（千葉工業大学 学生 第4・5回ロボプロ大会 MVP 受賞者）

審査員：今堀健治 氏（ヒューマンアカデミー株式会社 代表取締役）

■一般社団法人 未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）について

ロボット教育による子どもの成長促進と客観的指標に基づき評価

する協会団体として、一般社団法人 未来創生 STREAM 教育総

合研究所：Research Institute of STREAM Education for

Creating the Future（略：RISE）」を設立。理事には、教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社やユカイ工学株式会社、千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター「fuRo」所長の古田貴之氏、チームラボ株式会社取締役の堺大輔氏、株式会社ロボ・ガレージ 代表取締役/東京大学先端研特任准教授の高橋智隆氏を迎え、ロボット教育の効果を客観的指標に基づいて評価し、子どもたちの育成に寄与するための研究・開発・普及活動を行うことを目的としています。

●公式サイト URL <https://www.rise.or.jp>



一般社団法人 未来創生STREAM教育総合研究所
Research Institute of STREAM Education for Creating the Future

■「ヒューマンアカデミージュニアスクール ロボット教室」とは

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智

隆氏をアドバイザーに迎え、2009年6月にスタート。未就学児（5～6歳）

から中学生を対象に全国で展開し、教室数は2,000教室以上、在籍生徒

数は27,000名を超えるロボット・プログラミング教室です（※2025年3月

末時点）。5歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご

用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。

子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL : <https://kids.athuman.com/robo/>



■取材・本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原 千恵
E-mail : ha_info@athuman.com

■ヒューマンアカデミーについて

<https://manabu.athuman.com/>

学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985 年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら 800 以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおける STEAM 教育やリスニング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、最高水準の教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

ヒューマングループは、教育事業を中核に、人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開し、2025 年 4 月に創業 40 周年を迎えました。1985 年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を経営理念に掲げ、各事業の強みを生かし、連携しながらシナジーを最大限に発揮する独自のビジネスモデルにより、国内 340 拠点以上、海外 4 カ国 5 法人のネットワークでお客様に質の高いサービスを提供しています。



●ヒューマンホールディングスウェブサイト：<https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

- 代表者：代表取締役 今堀 健治 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
●資本金：1,000 万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原 千恵

E-mail：ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ■ ヒューマングループ 広報担当 若林・平

E-mail：kouhou@athuman.com